



共働・共助を目標に、シルバーのSと、センターのCを組み合わせ、飛躍する人の姿を表わしたマーク。

会報シルバー かみ 茂

第 62 号

令和6年 新春号

公益社団法人
加茂市シルバー人材センター
加茂市幸町2丁目3番5号
☎ (0256) 53-1772
FAX (0256) 53-3333
E-mail:kamo@sjc.ne.jp
<https://www.sjc.ne.jp/kamo/>

明けましておめでとうございます



健康ウォーク (写真 市役所提供)



Mr.シルバー

監	監	理	理	理	理	理	理	理	副	理
事	事	事	事	事	事	事	事	事	理	事
森	中	大	高	阿	林	金	皆	小	樋	薄
田	村	野	橋	部		田	藤	林	口	木
一		博	龍	毬	昭	武	英		正	喜
郎	豊	司	子	子	英	雄	治	豊	治	勝

今年もよろしく
お願いいたします。

謹賀新年



新年のごあいさつ

理事長 薄 木 喜 勝

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかな新春をお迎えることとお慶び申しあげます。という言葉で始まる例年のごあいさつ、しかし今年のあいさつは違いました。「大丈夫でしたか」、「大変でしたね」と言い、「おめでとう」とは、どうしても言えない、そんな令和六年の元旦でした。

能登半島地震に始まり、支援助物資を運ぶ飛行機が民間機に衝突される、こんな不穏な空気のなか、昇り竜を期待した辰年のスタートとなりました。会員のなかにも被害がでた方がおられるかも知れません。一日も早い回復を心より祈念いたします。マイナスからのスタートです。しかし世界が驚嘆した、敗戦から復興した日本の底力があります。この苦境こそ戦中、戦後を生きてきた我々のこれまでの経験が必要な時です。我々は力仕事を中心でした。薪でご飯を炊き、タライで洗濯をした時代です。今はボタンを押し、冷たいものはチンする時代です。この能登半島地震で右往左往する

人間に神様が戦後の人間はもつと苦しんだんだよと我々に諭しているのではないのでしょうか。当時人生五十年といわれていました。それが今は、人生百年といわれています。前進するのも結構ですが、これを契機に少し立ち止まり、後ろを振り返ることも必要ではないでしょうか。

我々の年代は新潟地震を経験しております。今回の能登地震は他人事ではありません。

我々シルバー人材センターは自主、自立、共働、共助を基本理念としております。共に助け合い共に働く、この精神で進みたいと思えます。過去は変えられない、未来は誰にも分らない、今を一生懸命に生きる、これしかありません。

藤田加茂市長は加茂市の重点項目は健康と教育と文化を掲げておられます。我々センターも現役として社会参加をし、貢献してまいります。

会員の皆様におかれては今年も確実に健康診断を受診し、健康に留意して実りある一年でありますよう祈念しごあいさついたします。



年頭のご挨拶

加茂市長 藤 田 明 美

令和六年が幕を開けました。本年もよろしくお願いいたします。

初めに、一月一日に発生した能登半島地震において被災された皆様にも、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。被災地の日も早い復旧復興を心から願っております。

さて、加茂市を含む県央地域では三月一日に県央基幹病院が開院予定となっております。加茂病院も地域密着型病院として医療再編が進められています。

医療の充実が図られることは、高齢者が安心していきいきと暮らしていけることにつながります。

少子高齢化が急速に進む今日において、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加することが求められています。

このような中、活力ある高齢社会を支える地域の組織として、シルバー人材センターの担う役割は一層重要なものとなっております。

加茂市では、総合計画において、

誰もが健康で心豊かに暮らす「笑顔あふれるまち加茂」を目標に掲げ、さまざまな施策を実施しています。

高齢者福祉においては、健康長寿を推進しつつ、豊かな知識や能力を生かし、社会を支える一員として、幅広く社会に参加・貢献していただけるよう努めてまいります。

高齢者が活躍する社会の大きな一翼を担うシルバー人材センター事業の発展と拡充は、運営に携わる関係各位のご尽力はもとより、仕事に真摯に取り組み、それぞれの就業先で確かな信頼を得ておられる会員の皆様のお力が不可欠です。

加茂市シルバー人材センターにおかれましては、今後とも地域社会の活性化と福祉の向上にお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様が益々お元気で活躍されますことをご期待申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって心安らかな年となりますようお祈り申し上げます、新年のご挨拶いたします。

新しく入会した方々です
よろしくお願ひします
(令和5年7月～1月末まで)

七谷地区

小柳悦美(下高柳)
坂上洋子(中大谷)

加茂地区

山口スイ子(番田)
阿部稔(陣ヶ峰)
相田雅春(上条)
近藤一美(矢立)
河内務(新栄町)
坂上久夫(新町)

下条地区

近藤アイ(芝野)
中林正行(柳町)

以上10名

高齢者の知識・経験を活かす
シルバー人材センター

夢が叶った!!

上町 高地恵子

私の夢であった「遺跡発掘作業ができるなんて」と、会報シルバーの発掘調査員募集を目にしたことが入会したきっかけでした。

初めて作業にたずさわった時の感動は言うまでもありません。しかし一緒に作業する方々は、全員男性でしたのでちよつと不安はありましたが、作業現場では皆さんから声を掛けてもらったり、いろんなことを教えてもらったり、とても親切に接していただいて和気あいあいの雰囲気、日々楽しく作業ができましたこと、大変感謝しています。

今はメリア3階の管理人の業務をしています。日々利用される方々が安全で安心して過ごしていただけるよう努めています。

これから、いろいろ自分のできることを生かして仕事を通して生きがいを見つけられればと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

会員の就業先より



たいへんお世話になりました。
発掘調査で歴史を体感!

今年も下条の福島にある花立遺跡で発掘調査が行われ、シルバー会員の皆様から多大なご尽力をいただきました。

重機で遺跡がある地層まで掘り下げた後、作業員さんの出番となります。

建物の柱の穴などを丁寧に掘り進め、穴の埋め土に入っている土器などの生活道具を見つけてもらいます。土器が出る穴と出ない穴もあり、どちらを掘るかで作業員さんは悲喜

こもごもとなります。

さて、今年の調査区からは立派な平安時代の井戸跡が発掘されました。円い形の穴を掘り進めると、木枠が姿を現しました。大きさは約50cm四方で、加工された板材が井桁状に組み合わさっていました。

これを掘り出す作業は大変で、頭を井戸の中に入れ逆さまの状態です。掘っていききました。

おかげさまで無事掘り出せました。発掘調査は来年も続きます。作業員の皆様、ご健康に留意され、また現場でお会いしましょう！
人生の経験談も楽しみにしています。

(加茂市教育委員会 伊藤秀和)



写真で見る シルバー



ゴルフ同好会



会員交流忘年会



せん定講習



運転技能講習



歩道の草取り作業



冬囲い作業



庭木のせん定体験



筆耕のしごと講習



道路路肩除草



リフレッシュ講座

シルバー人材センター

私が入会して

下条 坂上一人

定年退職し、時間をもてあましていましたが、まだ自分にもできる仕事でもあればと思い、シルバー人材センターの説明会に参加し会員になりました。

入会してから紹介された仕事が鯉のぼりの片づけと工場での製品の箱詰め作業でした。その後、下条ダム緑地管理の仕事を紹介してもらいました。

仕事はダム周辺の草刈り、ゴミ収集、冬囲い、キャンプ場、学習館の管理などです。

暑い時期の草刈り作業は少し大変でした。先輩からアドバイスしてもらい、徐々に慣れて楽しく仕事ができるようになりました。

下条ダムに来られる方からは「ご苦労さま」「きれいになりましたね」などと声を掛けていただくこともあり、励みにもなっています。

これからも自分の体調に気を付けながら続けていきたいと思っています。

事務局の方にはいろいろと紹介していただき感謝しています。

今後もお世話になると思いますが、よろしく願います。

シルバーの 会員に なりませんか

シルバー人材センターは全国各地で多くの会員が元気に活動しています。

現在、加茂市シルバー人材センターには、約500人が入会されています。

「加茂市内にお住まいの原則60歳以上の人で、健康で働く意欲がありシルバー人材センターの趣旨に賛同する人」であれば、どなたでも入会できます。

シルバー人材センターは自主的な会員組織です。会員は自ら組織や事業運営に参画します。

就業や収入の保障はありませんが、会員の希望と能力に応じた働きができます。社会のため、自らのためにも、今までに培ってきた技能や知識、豊かな経験を活かしてみませんか。



■入会手続き

シルバー人材センター事務局で、随時、入会を受け付けています。入会申し込み書に記入し、年会費千円を納めていただきます。

毎月、第2金曜日（祝日の場合は前日）の午前9時30分～正午に、ゆきつばき荘で入会説明会を行っています。

※特に庭木の手入れ、草とり作業を行ってくれる会員が不足しています。

興味のある人は、ぜひ、ご入会をお願いします。

退職のごあいさつ

職員 坂上 玲子

加茂市シルバー人材センターが国庫補助対象団体になった平成三年に職員に採用されました。

当時の私にとっての高齢者とは、祖父母やご近所の方々で、常に家に

居る人というイメージでした。ところが、職員になり生き生きと活躍しておられる会員さん達と接するうちに、そのイメージは変わっていききました。この方は年齢詐称なのでは？と思うことも度々ありました。ですので、シルバー会員は同年齢の人と比べ医療費が少なくと報告されているのにも納得です。

現在は、国の方針による定年延長等もあり会員増加が困難な状況もありますが、仕事をやるだけでなく、現役時代とは違う職種の方と交流できる場でもあると実感しています。

時代と共に会員さんの気持ちや考え方も変わってきましたが、その仕事ぶりにより発注者様から喜ばれたり感謝されたり、時には苦情を言われたりもします。また、会員さんからも怒られたりお礼を言われたりしてきました。

定年を迎えた六十歳から継続雇用していただき今年度末をもちまして退職する私にとって、人生のお手本や目標になる何人もの方に巡り会えたことが喜びです。

これまで多方面にわたりご指導いただきまして感謝申し上げます。皆様方の益々のご活躍をご祈念申しあげ、一足早い退職のご挨拶とさせていただきます。

事務局だより

「会員ひとり紹介運動」しています

今年も「ひとり1会員入会運動」を引き続き展開しておりますので、皆さまのご協力お願いいたします。

紹介して下さった会員に、後ほど粗品をお贈りさせていただいております。入会については毎月、第二金曜日の午前9時30分から二時間程度、「シルバー入会説明会」をゆきづばき荘で開催しています。（広報欄にお知らせ版、暮らしのカレンダーに掲載されています。）
ご近所の方、お知り合いの方に、お声かけお願いいたします。

インボイス制度開始について

昨年10月からインボイス制度が始まりました。会員の皆様にはこれまでどおり発注者から預かった消費税を含む配分金をお支払いしております。

免税事業者である会員の皆様は、引き続きこの消費税を国に納める必要はございません。

ただし、センターは免税事業者である会員との取引について、消費税

の仕入税額控除が認められなくなり、その分を負担しなければなりません。

つまり、センターとしては新たに納税コストが発生しますが、今のところ事務費の引き上げ及び一層の業務効率化などで、会員の皆様の配分金額に影響がないように尽力いたします。

今後センターの事業運営が厳しくなることも懸念されますが、会員の皆様にはご理解、ご協力賜りますようお願いいたします。

今後の事業等の開催予定について

- 1月 リフレッシュ講座（4回）
就業問題特別委員会
「シルバー加茂」第62号発刊
運転就業会員技能講習会
- 2月 上期会計監査実施
- 3月 第4回理事会

配分金支払日

- ◆ 2月13日（火）
- ◆ 3月11日（月）
- ◆ 4月10日（水）
- ◆ 5月13日（月）
- ◆ 6月10日（月）
- ◆ 7月10日（水）
- ◆ 8月13日（火）

月によって、10日が支払日ではない場合があります。明細書は3ヶ月ごと郵送します。その月の支払日をよく確認をしてください。

接遇マナーの研修会
第2回安全管理委員会

4月 職研班研修会（庭木班）
5月 理事会

6月 令和6年度定時総会
7月 安全適正就業強化月間
第1回安全管理委員会

※ 各種講習会の開催は状況を見て
ご案内をいたします。

退職された職員について

当センター常務理事兼事務局長の青柳芳樹さんが昨年の11月30日をもって退職されましたのでお知らせいたします。

会員の皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。



編集後記

新年明けましておめでとうござい
ます。皆様には良いお年をお迎えの
ことと存じます。

新年早々、元旦の16時10分能登半
島地震により加茂市にも災害救助法
が適用され、大変驚かされました。

昨年はロシアとウクライナ、イス
ラエルとハマスの戦争、高齢者によ
る交通事故、物価高騰、無差別殺人
自民党の派閥による裏金問題といっ
た暗いニュースが多かったように思
います。今年は明るいニュースを期
待し、願っております。

昨年の漢字はインボイス等のこと
もあり「税」ということでしたが、
異常気象で特に猛暑となり、一部生
活の面でも果物、野菜など作物に被
害がありましたので「暑」だと思っ
ておりました。

まだ新型コロナウイルスやインフルエンザ
の感染がおさまっていない状況です
ので、基本的な感染対策（マスク、手
洗い、うがい、換気など）をされて
お過ごしいただきたいと思ひます。
会員の皆様にとって本年が良い年
となりますよう心より祈念いたして
おります。

樋口正治（編集委員）